

青年における生活態度の研究

——理系・文系・母親との比較——

橋 本 泰 子

I 緒 言

従来より青年の価値観は、その時代をよく反映するものとされている。白井利明氏⁽¹⁾は、1992年にオールポート (Allport, G. W.) らの価値テストを用い、青年を対象に、20年前との比較を試みた。最近の青年の価値観の特徴として、「経済的価値の重視、社会的価値の減少、すなわち、自分の感覚を最優先し、イデオロギーの不信感や無関心が生じ、他者との心理的なつながりの喪失、自閉主義と主体性志向の増大」、具体的には「指示待ち人間」「マニュアル人間」等と器械操作は優れているが、対人関係は稚拙であると指摘している。

ところで平成7年3月、オウム真理教信者達による地下鉄サリン事件で、散布した猛毒サリンを製造したのが、国立大学の理工系の出身者達であったことが、一層、人々を驚嘆させた。山崎正和氏⁽²⁾の論説が、これらの現代青年の病理を解明していると考えられるので、要約してみよう。

「若者を中心に企業への帰属感が弱まり、評価基準への信頼も薄まり、その分だけ消費による自己実現の流行という匿名世界への参加の機会が増えた。誰もが自由になる反面、分を知ることも難しくなり、顔の見えない他人と自分とを比較して、限度のない自己実現を迫られる程度が増した。それをどうあがいてもなし切れない。これまで挫折感や不全感を体験したことのない若者が集まって、テロ集団になっていった。その社会病理に気づくことからまず、手をつける必要がある」

つまりは、現代の青年は、自由に生きられる反面、今度は、自分で生きる目標を設定し、成就しなければならぬ。しかし、それをなし遂げるだけの強い忍耐力、意欲、創造性に欠け、その上、対人関係の持ち方が培われてない。知識だけが先行する、頭でっかちの青年達が、暴走したということである。いずれにせよ、その社会病理を広い視点から解明することの大切さを説いている。

そこで、大学生の生活一般に渡る価値観に関して、理系、文系において、どのような特徴が認められるか、さらに、子どもの社会化（躰）に直接かかわった母親達との間で、どのような相違

が認められるのか、世代間の比較も試みたので報告する。

なお、母親達の年代 (M=48.5歳) は、日本の高度経済成長期、学園闘争、三無主義といった激動の時代に、思春期、青年期を過ごしてきている。その意味では、親子ともども、日本の大きな変革期に位置していたことが共通する。このような社会背景を有する母親と、将来を背負う若者との価値観を明らかにすることは意味を有するものと考えられる。

II 青年期の心理的特徴

青年期が、主として研究対象にされたのは、1960年代、米国の学園紛争から、火花が飛び散って、日本でも全共闘を中心にする学生運動の嵐が吹きあれた後からである。運動が沈静化し、無気力学生、自殺、薬物依存、暴走族、校内暴力、登校拒否、思春期やせ症、等が多発したことに端を発し、青年に対して注目がなされ始めた。

ところで、青年を意味する adolescent とは「成熟に近づく」ということであり、心身ともに急速に発達する時期でもある。しかし、青年は、子どもでも、成人でもないといった不安定な状況にある。そこからさまざまな、青年期特有の心理的特徴を呈してくる。そこで、青年期にはどのような心理的特徴を有するのか概観しておく。

1 青年期の心理と発達課題

馬場謙一氏⁽³⁾による青年期の定義を要約するとしよう。青年期には、特有の心の動揺や葛藤がある。これらと戦いながら、性衝動を支配し、身体の変化を受け入れて男らしさ、女らしさを形成する。一方、親との依存的結合関係を解消していく。さらに社会的な人間関係の中で、新しい価値観を身につけ、勉学を通して職業的役割にふさわしい知識や技能を獲得して、「これが自分だ」といえる一貫性をもった自己 (自我同一性) を形成しなければならない。青年は、心理的、社会的な猶予期間 (モラトリアム) に、自由な役割実験をくりかえし、やがて、現実の社会の中に自分に適した場所と役割を見出し、成人期に移行する。しかし、この青年期は、容易に通過できる時期ではない。ここで「乗り越え」に失敗し、各期の発達課題の解決につまずくと、病的状態に陥ったり、「遷延せる青年期」の状態を招く危険が生じてくる。

すなわち、青年期は、成人になる準備段階であり、踏みはずすとそこからの脱出は困難で、つまりは、エリクソン⁽⁴⁾のいう自我同一性 (ego-identity) の確立がなされないと提唱しているのである。

2 現代青年の病理

この数年来、長寿化に伴い、青年、とくに男子が、成人になりにくいことが問題になっている。

なぜ、自立できないのか、北村陽英⁽³⁾氏は、つぎのよう理由を挙げている。

まず、家庭教育が、幼児的段階にとどまる青年や、幼児期段階へ退行しやすい青年を多く作ってきた。幼児たちは、物相手の遊びにはよく習熟しているが、人間相手の生活にはひどく不慣れである。人間相手に感情をうまく表出し、自己主張することに習熟してない彼らは、物相手と同様のやり方で、すなわち気に入らない物を徹底的に破壊してしまうやり方で、攻撃性を養育者へ向ける。この攻撃性は、養育者を「殺す」といった極端な出方にもなりうる。

社会に対して強い不安を感じている養育者は、その不安を子どもへ投影して、子どもに知識教育への投資を過剰に行って、受験と就職戦争に勝たせようとする。

わが国の青年は、強力な両親の過保護、過干渉のもとに精神的には幼児期のままで成人期を迎えるか、あるいは放任されて物中心の対象関係しか知らないままに成人期を迎える場合が多い。前者は親子ともども相互に分離できていないのであり、後者は幼児期に養育者から精神的に捨てられている。

そうすると、極端な表現をすると、現代の青年はTVドラマで話題になったマザコンの「冬彦さん」か、さもなければ、幼女連続殺人犯の宮崎のようなメカに、はまり込んだ「オタク族」かのどちらかに分類されるということである。両者とも成人になるために必要な、養育を十分なされず、気の毒でもある。また将来の日本を考えた時に、心淋しいものを禁じえない。

3 現代青年の三無主義

すべての青年が、「冬彦さん」か「オタク族」に、分類されるわけではない。むしろ、加藤隆勝氏⁽⁵⁾の定唱する青年の特徴に近いように思われるので紹介する。三無主義（無気力、無関心、無責任）あるいは四無主義（無感動）がいわれ出したのは、昭和40年代からである。最近の青年は、表面上は、無気力、無関心の態度を示し、人生への問いや課題意識に欠ける。これは問うても答が見い出せないため、「問い」を停止または放棄していることによるのであろう。

現代のように価値観の多様化、相対化が進行している社会では、自分自身をかけるに足る目標や方向を見出すことが困難になってきている。青年は、「しらける」ことによって現実の深刻さから逃れるとともに、現代社会のゆがみに対して抵抗しているのもと解される。正面から反抗を選ばず、現実からの逃避や自己防衛の反応でもある「しらけ」を選んでいるところに、現代青年の自我の脆弱さを読み取ることができる。

以上のように、加藤氏は、現代の青年は発達課題でもある、自我同一化に挑戦するのではなく、むしろ、そこから退却していることを指摘している。それだけ成人になるのが困難な時代と考えられる。

III 対象と方法

対象は、都内、近県の四年制大学及び短大の学生と、短大生の母親で、内訳は表1に示す通りである。理系94名（年齢M=20.3歳）、文系886名（年齢M=19.1歳）、母親56名（年齢M=48.5歳）（母群とする）計1036名である。

表1 対象者

	男子		女子		不明		計	平均年齢	S D
	N	%	N	%	N	%			
理系	58	61.7	33	35.1	3	3.2	94	20.3	0.475
文系	375	42.3	475	53.6	36	4.1	886	19.1	1.271
母群			56	100			56	48.5	5.859
計	433		564		39		1036		

調査内訳は、援助行動、対人関係、生活信条、家庭の役割分担、結婚、離婚、そして性格特性等の領域に関するもので、調査は、無記名で、平成6年11月に実施した。3群間で有意差（ χ^2 検定 $P < .05$ ）が認められたのは、50項目中、31項目であった。

IV 結果と考察

3群の結果は、有意差の認められた項目だけを取り上げ、（他は省略）表2から表8に示す通りである。以下検討を試みる。（表の各群の上段は頻数を、下段は%を示す）

表2

質問項目

I. 次の各々の場面の中で日頃のあなたの考えや行動に一番近いものを一つ選んで、その番号に○をつけて下さい。

1. 町の地域活動の一つとして、災害地に救援物資を送ることになり、あなたもセーターを提供しようと思いましたが、少し汚れているのでそのままでは着れません。洗えばいいのですが、それでは期限内に間に合いません。あなたはどうしますか。

- ① 着て着れないことはないからそのまま提供する。
- ② 遅れてもいいから洗って提供する。
- ③ 提供するのをやめる。
- ④ セーターの代わりに他の汚れていない物を提供する。

Q 1

	NA	1	2	3	4
理系	0	39	9	5	41
	0	41.5	9.6	5.3	43.6
文系	2	355	86	80	363
	0.2	40.1	9.7	9	41
母群	0	1	5	0	50
	0	1.8	8.9	0	89.3

P=0.000

2. あなたが電車に乗ったら身障者の友人が乗っていたので手を振ったとたん電車が揺れて、彼れはヤクザ風の男にぶつかってしまい、その男は友人のことを口汚く罵り暴力を振るいだしました。あなたはどうしますか。

- ① 殴られるのを覚悟して友人を助けに行く。
- ② 周囲にいる人に助けを頼む。
- ③ 知らないふりをして、収まるのを待つ。
- ④ 電車の非常コックを引いて停車させ、車掌に連絡する。
- ⑤ 自分も助けに行くが、同時に周囲にいる人にも手助けを頼む。

Q 2

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	45	9	4	1	35
	0	47.5	9.6	4.3	1.1	37.2
文系	2	344	53	39	21	427
	0.2	38.8	6	4.4	2.4	48.2
母群	0	12	4	1	1	38
	0	21.4	7.1	1.8	1.8	67.9

P=0.050

6. 親友から次のような相談を受けました。「中学2年の私の甥がアダルトビデオを見ている現場に出会った。彼れも両親も私のことを信頼し慕っている。彼れの両親はとても厳格な人です。私はどうしたら良いでしょう。」さて、あなたなら何と答えますか。

- ① 非行の芽は早く摘んだ方が良いから親に直接注意してもらおうようにする。
- ② なぜ、アダルトビデオを見ない方が良いのかを彼に直接言う。
- ③ しばらく様子を見て、常習的ならば注意するようと言う。
- ④ 少年が自分で判断すれば良いことなのだから放っておくように言う。
- ⑤ 少年に恨みを買うのは嫌だからわからないと言う。

Q 6

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	2	5	20	67	0
	0	2.1	5.3	21.3	71.3	0
文系	4	11	65	176	625	5
	0.5	1.2	7.3	19.9	70.5	0.6
母群	1	4	10	31	10	0
	1.8	7.1	17.9	55.4	17.9	0

P=0.000

表 3

7. 友人と車で買い物に行きました。店の駐車場は一杯でした。その店の前に斜めにすれば駐車できるスペースはありますが、かなり邪魔になります。あなたの買い物はそんなに時間がかかりません。あなたはどうしますか。

- ① 斜め駐車してさっと買い物を済ませる。
- ② 少し待っても駐車場に入れてから買い物をする。
- ③ 自分だけ買い物に行き、その間他の車の邪魔になったら友人に移動しておいてもらう。
- ④ 店の主人に断ってしばらく斜め駐車をして買い物を済ませる。

Q 7

	NA	1	2	3	4
理系	1	17	39	35	2
	1.1	18.1	41.5	37.2	2.1
文系	1	152	281	409	43
	0.1	17.2	31.7	46.2	4.9
母群	0	3	30	16	7
	0	5.4	53.6	28.6	12.5

P=0.000

8. 降りるとき料金を払うシステムになっているバスに乗りました。ある停留所でバスが止まったまま発車しません。客が、ポケットをひっくり返して小銭を探しています。あなたならどうしますか。

- ① バスに乗る前に小銭を準備するから、そんなことは起きない。
- ② 両替を先にしておく。
- ③ 他の乗客に両替を頼む
- ④ 特に何もしない。

Q 8

	NA	1	2	3	4
理系	1	20	54	2	17
	1.1	21.3	57.4	2.1	18.1
文系	6	205	480	18	177
	0.7	23.1	54.2	2	20
母群	1	28	19	1	7
	1.8	50	33.9	1.8	12.5

P=0.003

9. それ程親しくない人からあなたの所にお中元が届きました。何で急にこんなことをするのか分かりません。あなたはどのようにします。

- ① 別に気にせずもらって礼状を出す。
- ② 貰ういわれがないからそのまま返送する。
- ③ 黙って受け取ってそのままにしておく。
- ④ 受け取っておくが同額位の品物を探して相手に送る。
- ⑤ 間違いではないのかを相手にたずねる。

Q 9

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	26	2	5	56	5
	0	27.7	2.1	5.3	59.6	5.3
文系	0	337	10	37	427	75
	0	38	1.1	4.2	48.2	8.5
母群	1	11	1	0	38	5
	1.8	19.6	1.8	0	67.9	8.9

P=0.000

10. かなたの就職のことで先輩に口ぞえを頼みましたが、結果はうまく行きませんでした。こんな場合あなたはどのようにしますか。

- ① うまくいかなかったので、みっともないから黙っている。
- ② 相手に電話して結果を報告する。
- ③ 手紙で結果を報告する。
- ④ 名刺をつけた品物を送る。
- ⑤ 相手の家に行き結果を報告する。

Q10

	NA	1	2	3	4	5
理系	1	2	71	8	1	11
	1.1	2.1	75.5	8.5	1.1	11.7
文系	3	25	630	134	10	84
	0.3	2.8	71.1	15.1	1.1	9.5
母群	1	0	38	2	0	15
	1.8	0	67.9	3.6	0	26.8

P = 0.002

表 4

11. 親友が高性能のステレオを買いました。あなたも聴きに来るようにさそわれたので、彼れのアパートに行きました。性能を発揮させるためには、かなり大きな音になります、隣の部屋にまで音が飛び込んでしまいます。あなたならどうしますか。

- ① 音を小さくするかヘッドホーンで楽しむように忠告する。
- ② 自分のステレオで楽しんでいるのだから何とも思わない。
- ③ 隣人に何か言われたら謝るように言う。
- ④ 引っ越しして防音効果のある部屋で聴くように言う。
- ⑤ あらかじめ近所の部屋の人に話をしておいて了解を得ておくように言う。

Q11

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	72	4	17	0	1
	0	76.6	4.3	18.1	0	1.1
文系	0	625	61	157	11	32
	0	70.5	6.9	17.7	1.2	3.6
母群	1	49	1	2	0	3
	1.8	87.5	1.8	3.6	0	5.4

P = 0.000

12. 電車に乗り、座っているとあなたの前に新聞紙が何枚も飛んできました。あなたはどうしますか。

- ① 自分が読んだのではないし放っておく。
- ② 足で踏んで自分の下に寄せておく。
- ③ 拾って降りる時、くずかごに捨てる。
- ④ 拾って網棚にのせる。
- ⑤ 拾って窓から捨てる。

Q12

	NA	1	2	3	4	5
理系	1	31	8	15	38	1
	1.1	33	8.5	16	40.4	1.1
文系	0	310	112	154	306	4
	0	35	12.6	17.4	34.5	0.5
母群	0	3	4	11	38	0
	0	5.4	7.1	19.6	67.9	0

P = 0.000

14. あなたが最新流行の服を作りましたが仕上がりが遅れたので予定のパーティーには間に合いません。学校に着ていくぐらいです。こんな時あなたはどのようにしますか。

- ① 学校に着ていく服装らしくないから諦めて来シーズンに着る。
- ② 学校の服装規定がないから着ていく。
- ③ もったいないから学校に着ていく。
- ④ 友人に意見を聞いてから決める。
- ⑤ 先生や親に意見を聞いてから決める。

Q14

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	62	10	12	10	0
	0	66	10.6	12.8	10.6	0
文系	3	466	90	186	126	15
	0.3	52.6	10.2	21	14.2	1.7
母群	5	42	5	3	0	1
	8.9	75	8.9	5.4	0	1.8

P = 0.000

15. あなたが友人との待ち合わせ時間に遅れそうなので、急いで自転車で駅まで来ました。あいにく駐輪場が一杯でした。あなたはどのようにしますか。

- ① 家に戻って自転車を置いてくる。
- ② 近くの知人の家に頼む。
- ③ 駐輪場が空くのを待つ。
- ④ 駅の近くの路地に置く。

Q15

	NA	1	2	3	4
理系	0	1	31	7	55
	0	1.1	33	7.4	58.5
文系	4	18	188	46	630
	0.5	2	21.2	5.2	71.1
母群	2	1	30	1	22
	3.6	1.8	53.6	1.8	39.3

P=0.000

表 5

16. もしもあなたがアパートのオーナーで外国人が部屋を借りに来た時、あなたならどうしますか。

- ① 家賃を確実に払ってくれるならば、国籍にかかわらず貸す。
- ② こちらの出す生活習慣等の条件に応じてくれるならば貸す。
- ③ 相手にあって見ないと分からない。
- ④ よく話し合ってみて、日本人の知人がいるのなら貸す。
- ⑤ 日本人以外はトラブルがあると嫌なので絶対貸さない。

Q16

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	13	25	48	4	4
	0	13.8	26.6	51.1	4.3	4.3
文系	4	184	278	351	37	32
	0.5	20.8	31.4	39.6	4.2	3.6
母群	1	8	22	13	5	7
	1.8	14.3	39.3	23.2	8.9	12.5

P=0.003

19. 性交渉が原因のエイズ感染者に対してあなたはどのように思いますか。

- ① 気の毒に思う。
- ② 同情できない。
- ③ どちらでもない。

Q19

	NA	1	2	3
理系	1	37	17	39
	1.1	39.4	18.1	41.5
文系	4	439	161	282
	0.5	49.5	18.2	31.8
母群	1	23	18	14
	1.8	41.1	32.1	25

P=0.037

21. 臓器移植についてあなたはどのように思いますか。

- ① 患者が健康になるなら賛成である。
- ② 移植までして長生きすべきではない。
- ③ よくわからない。

Q21

	NA	1	2	3
理系	0	73	11	10
	0	77.7	11.7	10.6
文系	10	718	55	103
	1.1	81	6.2	11.6
母群	0	25	7	21
	0	44.6	12.5	37.5

P=0.000

22. 「公共の利益のためには個人の権利はある程度犠牲になってもやむを得ない」という意見について、あなたはどのように思いますか。

- ① そう思う
- ② わからない
- ③ そうは思わない。

Q22

	NA	1	2	3
理系	0	27	11	10
	0	28.7	11.7	10.6
文系	10	718	55	103
	1.1	81	6.2	11.6
母群	0	36	4	16
	0	64.3	7.1	28.6

P=0.000

表 6

25. 次の意見のうち、あなたの立場に近いものはどちらですか。

- ① はじめはうまくいなくても、道理があればしまいには認められるのだからどんな場合でも正しいと思うことはどこまでも主張し、自分をごまかさず、信念をもって生きることが大切だと思う。
- ② 世の中はそんなに甘くないから、目上の人はいつも立て、自分の置かれた立場をよくわきまえて、人に好かれるようにその場、その場に応じてうまく振る舞うことが大切だと思う。

Q25

	NA	1	2
理系	1 1.1	51 54.3	42 44.7
文系	15 1.7	399 45	472 53.3
母群	5 8.9	30 53.6	21 37.5

P=0.001

27. 子供にメンツにこだわるなと教えることは大切だ。

- ① そう思う ② そう思わない ③ わからない

Q27

	NA	1	2	3
理系	0 0	30 31.9	31 33	33 35.1
文系	7 0.8	322 36.3	243 27.4	314 35.4
母群	3 5.4	26 46.4	12 21.4	15 26.8

P=0.010

29. 他人にあげるものを買うとき、同じものなら有名な店で買う方である。

- ① そうしている ② そうしていない ③ 決まっていない

Q29

	NA	1	2	3
理系	0 0	16 17	21 22.3	57 60.6
文系	5 0.6	187 21.1	185 20.9	509 57.4
母群	0 0	23 41.1	2 3.6	31 55.4

P=0.003

31. 近所付き合い

- ① 会った時に挨拶する程度の付き合い。
 ② あまり堅苦しくなく話し合えるような付き合い
 ③ 何かにつけて相談したり助け合えるような付き合い

Q31

	NA	1	2	3
理系	0	29	58	7
	0	30.9	61.7	7.4
文系	5	299	472	110
	0.6	33.7	53.3	12.4
母群	0	9	43	4
	0	16.1	76.8	7.1

P=0.021

32. 職場の同僚との付き合い

- ① 仕事に直接関係する範囲の付き合い
- ② 仕事が終わってからも話し合ったり遊んだりする付き合い
- ③ 何かにつけて相談したり助け合えるような付き合い

Q32

	NA	1	2	3
理系	1	7	52	34
	1.1	7.4	55.3	36.2
文系	15	83	536	252
	1.7	9.4	60.5	28.4
母群	1	12	34	9
	1.8	21.4	60.7	16.1

P=0.030

表 7

34. ① 台所の手伝いや子供のお守りは一家の主人である男子のすることではない
- ② 夫婦はお互いに助け合うべきものだから夫が台所の手伝いや子供のお守りをするのは当然である

Q34

	NA	1	2
理系	0	9	85
	0	9.6	90.4
文系	16	75	795
	1.8	8.5	89.7
母群	5	7	44
	8.9	12.5	78.6

P=0.002

35. 現在の世の中で子供達がどんな人間に育つことが一番望ましいと思いますか。

- ① 秩序を守る規則正しい人間
- ② お互いの権利や生活を尊ぶ人間
- ③ 実社会で役立つ知識や技能を身につけた人間
- ④ 教養があり心が豊かな人間
- ⑤ その他

Q35

	NA	1	2	3	4	5
理系	0	12	15	9	48	10
	0	12.8	16	9.6	51.1	10.6
文系	12	97	201	52	471	53
	1.4	10.9	22.7	5.9	53.2	6
母群	0	10	10	10	23	3
	0	17.9	17.9	17.9	41.1	5.4

P=0.010

37. あなたの生活目標は次の中のどれが一番近いでしょう。一つだけ選んで下さい。

- ① その日その日を自由に楽しく過ごす
- ② しっかり計画を立て豊かな生活を築く
- ③ 身近な人たちとなごやかな毎日を送る
- ④ みんなと力を合わせて世の中をよくする

Q37

	NA	1	2	3	4
理系	0	30	26	31	7
	0	31.9	27.7	33	7.4
文系	11	283	208	352	32
	1.2	31.9	23.5	39.7	3.6
母群	0	4	29	20	3
	0	7.1	51.8	35.7	5.4

P=0.000

38. 次の各項目の意見のうちあなたの考えにより近いものはどちらでしょう

- a) ① 結婚は当事者だけの合意によって成り立つものではなく、親や生活環境のことも考えるべきだ
- ② 結婚は当事者の合意さえあればよいのだから周囲のことまで気にする必要はない

Q38

	NA	1	2
理系	0	47	47
	0	50	50
文系	21	569	296
	2.4	64.2	33.4
母群	0	45	11
	0	80.4	19.6

P=0.001

39. ① 一度結婚したら多少の困難があろうとも離婚すべきではない
 ② 結婚してもお互いに納得できないようなことがあるならば一緒にいるよりも離婚した方がよい

Q39

	NA	1	2
理系	2	62	30
	2.1	66	31.9
文系	36	426	424
	4.1	48.1	47.9
母群	7	33	16
	12.5	58.9	28.6

P=0.000

表 8

40. あなたの性格は明るい方ですか。

- ① 非常に ② やや ③ 時と場合による ④ よくわからない

Q40

	NA	1	2	3	4
理系	0	13	28	46	7
	0	13.8	29.8	48.9	7.4
文系	8	166	261	427	24
	0.9	18.7	29.5	48.2	2.7
母群	1	7	28	20	0
	1.8	12.5	50	35.7	0

P=0.008

43. こちらから進んで友だちを作ることが少ない。

- ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

Q43

	NA	1	2	3
理系	0	32	29	33
	0	34	30.9	35.1
文系	8	221	402	255
	0.9	24.9	45.4	28.8
母群	1	13	12	30
	1.8	23.2	21.4	53.6

P = 0.000

44. 人目に立つようなことは好まない。

- ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

Q44

	NA	1	2	3
理系	0	39	22	33
	0	41.5	23.4	35.1
文系	8	268	298	312
	0.9	30.2	33.6	35.2
母群	0	33	4	19
	0	58.9	7.1	33.9

P = 0.000

45. 異性の友だちが殆どできない。

- ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

Q45

	NA	1	2	3
理系	0	26	36	32
	0	27.7	38.3	34
文系	9	172	487	218
	1	19.4	55	24.6
母群	1	12	14	29
	1.8	21.4	25	51.8

P = 0.000

48. 人と広くつきあうのが好きである。

- ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

Q48

	NA	1	2	3
理系	0	55	8	31
	0	58.5	8.5	33
文系	8	525	133	220
	0.9	59.3	15	24.8
母群	0	20	10	26
	0	35.7	17.9	46.4

P=0.000

49. いろいろな人と知り合いになるのが楽しみである。

- ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

Q49

	NA	1	2	3
理系	0	66	5	23
	0	70.2	5.3	24.5
文系	23	656	35	172
	2.6	74	4	19.4
母群	1	32	3	20
	1.8	57.1	5.4	35.7

P=0.048

Q1 「災害地に物資を送る、少し汚れている」「そのまま送る」理系41.5%，文系40.1%，母群1.8%，「汚れてない物を提供する」理系43.6%，文系41.0%，母群89.3%，学生の場合は、物資の豊富な時代に育っているため、困窮状況が、理解できにくいことから、とにかく提供すればよいといった気持ちが働いているようである。母群は、緊急時には、すぐに役立つ品物が必要であることが、推測できるため、汚れてない物を提供する割合が、このように高いものと解釈できる。

Q2 「電車で、身障者の友人が、暴力団員に殴られている」、「殴られる覚悟で助けに行く」理系47.9%，文系38.8%，母群21.4%，「助けに行くが、周囲の人にも助けを頼む」理系37.2%，文系48.4%，母群67.9%。

理系は、自己の責任で一人で、援助行動をする。後の項目で性格特性として、対人交渉が苦手であることや、人に目立つことは好まないことが挙げられることにも関係するようである。文系と母群は、人との連体により問題を処理する。暴力団員と対決するだけの体力に自信のないこともあるだろう。

なお、理系、文系に4%代、「知らんぷりをして、収まるのを待つ」との回答があった。友人が危機的状況にいても、見捨てることで、最近、いじめの事件で、助けに入ると、逆に自分が標的にされるので、見ぬ振りをする生徒が大半であることが報告されている。それにも通じるし、また、無関心、無感動の三無主義とも関連するようである。

Q6 「中2の甥がアダルトビデオを見ている」「少年が判断すればよいことだから放っておく」理系71.0%。文系70.5%，母群17.9%，「様子を見て、注意する」理系21.3%，文系19.9%，母群55.4%，学生の7割が放っておくのにに対し、母群の5割は、注意するとなっている。相手が少年であるから、当然、注意すべきである。日本では、TVの暴力シーンや教育上、良くない番組に対する規制がなされてない風潮も関連しているようである。

Q7 「友人と車で買物に行き、駐車場は一杯で、店の前に斜め駐車ができる」「待つて駐車場に入れる」理系41.5%，文系31.7%，母群53.6%，「自分だけ買物に行き、邪魔になったら、友人に移動してもらおう」理系37.2%，文系46.2%母群28.6%，まず、母群と理系は、規則を守る割合が、文系よりも高い。しかし、「斜め駐車を買物をする」理系18.1%，文系17.2%，母群5.4%，やはり学生は、人に迷惑を掛けても自分の都合を優先させる傾向が認められる。

Q8 「バスが止まったが発車しない、客が小銭を探している」「両替を先にしておく」理系57.4%，文系54.2%，母群33.9%。「乗る前に小銭を準備する」理系21.3%，文系23.1%，母群50.0%，学生の場合は、バスに乗った時点で、両替をするのにに対し、母群は、乗車前に小銭を準備している。「何もしない」学生が2割みられた。人に迷惑を掛けない気遣いが無い。社会性の低さであろう。

Q9 「親しくない人から中元が届いた」「同額の品物を送る」理系59.6%，文系48.2%，母群

67.9%，3群とも、貰ったことが負担になるため責務を果たしている。しかし、「そのままにして置く」理系5.3%，文系4.2%，母群0%，学生の中には、物を貰っても礼状一つ書かない礼儀を欠いた者がいる。社会生活をする上に支障がでるだろう。

Q10 「就職のことで先輩に口ぞえを頼んだが結果がうまく行きません」「電話で報告する」理系75.7%，文系71.4%，母群67.9%，3群とも過半数以上が電話で用事を済ませている。このような場合には、手紙ないしは、家まで出向いて報告するのが礼儀であろう。ちなみに、「家に行き報告する」理系11.7%，文系9.5%，母群26.8%，やはり母群は、学生達よりは、礼儀をわかまえている。

Q11 「アパートに住んでいる友人が、ステレオを買った。隣の部屋まで音が聞こえる」「音を小さくするか、ヘッドホーンで楽しむように忠告する」理系76.6%，文系70.5%，母群87.5%，多くは、近所迷惑にならないように気遣っている。なかには、「何か、言われたら謝る」理系18.1%，文系17.7%，母群3.6%，「自分のステレオだから、何とも思わない」理系4.3%，文系6.9%，母群1.8%，やはり、自己中心的行動を取る人達がいる。密集している住宅地では、騒音公害になるため、配慮が必要であろう。

Q12 「電車に乗り、新聞紙が飛んできた」「拾って網棚にのせる」理系40.4%，文系34.5%，母群67.9%，これは片づけたのでなく、紙を移動させたに過ぎない。「放っておく」理系33.0%，文系35.0%，母群5.4%，学生は、「人の読んだ新聞紙だもの関係ないよ」といった無関心からの反応のようである。しかし、「拾ってくずかごに捨てる」理系16.0%，文系17.4%，母群19.6%，社会を互いに住みよくするために、協力する人が、約2割存在する。公衆の面前で、このような行為が自然にできるのには、普段から習慣づいてないとできにくいものである。幼児期からの躾が大切である。

Q14 「最新流行の服を作ったが、パーティーには間に合いません」「来シーズンに着る」理系66.0%，文系52.6%，母群75.0%，「学校に着ていく」理系12.8%，文系21.0%，母群5.4%，母群と理系は、社会通念にそって対応しているのに対し、文系は、せっかく作ったからと、TPOをわかまえずに行動するようである。さらに、「友人に意見を聞いてから決める」理系10.6%，文系14.2%，母群0%。このように、社会通念も友人との相談で決めるため、古い規範は、消滅していくようである。

Q15 「急いで、自転車で来たら、駐輪所が一杯でした」「路地に置く」理系58.5%，文系71.1%，母群39.3%。「知人の家に頼む」理系33.0%，文系21.2%，母群53.6%，文系は自分の都合を優先させ、規則違反をするのに対し、母群は、知人とのネットワークを上手に利用して切り抜けているようである。

〔小括〕

これまでの調査項目は、社会化に関連するものが多いことから、なぜ青年と母親世代とに差が生じてきたのか検討してみたい。

1 家族における社会化

まず社会化（馴）の定義としては、青井和夫氏⁽⁶⁾によれば「社会化の一形態であって、ある社会集団の正規の成員が、日常生活における基本的な習慣、価値、態度、行動様式などを、そうでないものに対して、体得させる過程をさすのに用いる」。

さらに、松原治郎⁽⁶⁾氏はこの社会化は、家族の機能が単純化しても、最後まで家族に残る機能の一つであること。また、家族の役割関係構造、親子関係は、人の社会化にとって不可欠かつ基底的意義を有することを強調している。

2 現代家族における社会化

家族の変容に伴い、社会化もつぎのように変化したと佐藤カツコ⁽⁶⁾氏は、指摘している。

近代までの伝統的な社会の中では、しつけの目標は、「地域社会」のなかにあった、敗戦までの時代においては、「家」のなかに求められた。現代社会におけるしつけの目標は「個人」そのもののなかに求められている。

子どもたちは、あるべき姿としての人間のイメージをまさに、「親」個人のなかに求め続けている。ところが、「厳しさの喪失」と「父親不在」によって特徴づけられる現代家族のしつけの結果は、子どもの人間形成における「自立」をますます遅らせる方向に働いている。青年期は延長される傾向にあり、完全に自立をしてない世代が親となり、今やつぎの世代のしつけにたずさわっている。父親不在と母子中心の家族教育が続いていけば、自立の遅滞は再生産され、拡大していくばかりである。このように、「父親不在」による青年の自立の問題点を指摘している。

3 憂うべき若者達と教育制度

今の大学生の馴のなさ、自己中心性、利己主義傾向の原因について、三戸公氏⁽⁷⁾は、親と学校教育に視点をおいて解説している。

家庭は子どもを馴ける場ではなくなった。家庭は家ではなくなったが、会社が家になった。官庁が家になった。それぞれの組織体が家になった。子どもを格の上の家に入れるために、そこに入れるための学校に入れる。

学校教育は、国家の制度であり、社会の制度である。制度的に現在の憂うべき若者の情況はつくり出されつつある。このまますすめば、その体制に順応し、さらに暗い顔をした若者、何の反抗も抗議もしない若者、正義感を喪失した若者、自分の利ばかりを考える明るい若者でいっぱいになるだろう。

さらに、日本人を律してきた恥を捨て去った民主主義は、各人がエゴイズムに立つ世界である。各人がエゴにもとづいて意思決定をし行動するとき、その決定＝行為の結果に責任をとることなしには、その社会はなり立たない。日本人ははまだ、責任意識を身につけることなしに、無私、

滅私，去私の美を倫理をかなぐり捨てつつある。

さて、なぜ、現代の青年と母親との間に段差が生じたのか、検討したように、社会化の原点である家族の変容，教育制度，そして民主主義のイデオロギーを背景に出現してきたものであり，このまますすめば，青年の自立は遅滞し，自己中心的な三無主義の若者が再生されていくことが，理解できる。

それでは，また，調査項目に戻って検討を進めていこう。

Q16 「あなたがオーナーで外国人が部屋を借りに来た」「相手を見ないと分からない」理系51.1%，文系39.6%，母群23.2%「生活習慣等の条件に応じてくれるなら」理系26.6%，文系31.4%，母群39.3%「家賃を払ってくれるならば国籍にかかわらない」理系13.8%，文系20.8%，母群14.3%「絶対貸さない」理系4.3%，文系4.2%，母群12.5%

まず，理系は，直接相手に会ってからの割合が高い，これは，自分の目で確かめて決める。もしかしたら人種差別にもつながるかも知れない。これは文系にも認められる。

母群は，具体的に，「生活習慣等の条件」との折り合いを提案している。一方，絶対に貸さない人が1割占めている。文系は，国籍にかかわらないと回答している人が2割いる。

以上の結果は，東南アジアからの留学生は部屋を借りるのが困難であるが，白人の場合には，比較的容易であるといったことを耳にする。この事実にも一致するようである。なぜ，そのような差が生じるのか，理由としては，まず，地理条件上，異文化人と接触することが少ないことや，長年来の習慣による西高東低型の価値判断による差別があること。今後，国際人となるためには，是正することが，必要かと考えられる。

Q19 「性交渉が原因で，エイズに感染した人をどう思うか」「気の毒に思う」理系39.4%，文系49.5%，母群41.1%，「同情できない」理系，文系とも18.2%，母群32.1%3群で同情を示すのが4割で，母群は同情できないと拒否的態度を示す割合が高い。それだけ性交渉に大して，学生よりは厳しい規制を持っているようである。

竹中和郎氏⁽⁸⁾によれば，「性の規範が比較的強い，統制力をもつ家族内関係，ことに夫婦間の関係に比べて，それ以外の家族外社会における性的規範の受容性に相異がある。婚外性交渉や婚前性交渉は，現代社会において増加のきざしをみせ，その存在は否定できない。非制度的規範のもつ強制力は次第に力を失い，同時に逸脱行為に対する許容量を増大させている」すなわち，現代社会における性の規範に歯止めがきかなくなっていると指摘している。したがって，学生と母親とに差が生じるのも当然かと考えられる。

Q21 「臓器移植について」「賛成」理系77.7%，文系81.0%，母群64.3%，「移植までして長生きすべきでない」理系11.7%，文系6.2%，母群7.1%，移植に肯定派は文系に多く，一方反対派は，理系にやや多い。

現在の時点では，生命倫理，脳死判定等の問題が十分解決していないため，母群は，肯定もし

かねるであろう。なお、理系に延命に対して否定的なのは、臓器が悪いために死亡するのであれば、それも自然の摂理であり、入れ換えてまでも長生きすべきか、といった発想なのであろう。これは移植者と出会った経験の有無によっても意見が異なってくるものと解釈される。

Q22 「公共の利益のためには、個人の利益はある程度犠牲になってもやむを得ない」「そうは思わない」理系44.7%，文系45.0%，母群37.5%，「そう思う」理系28.7%，文系24.3%，母群44.6%，「わからない」理系26.6%，文系30.0%，母群12.5%，学生は私権を優先し、母群は、公共性を挙げている。さらに、学生の2～3割は、自分の考えが明確でないため、生活全般に、行動決定が不確実になりがちのようである。

長島正氏⁽⁵⁾は、「世界青年意識調査」の結果から、1970年代の青年の意識を特徴づけるものは、(1)社会に対する不満と消極性、社会からの離脱、(2)個人の無力感、(3)個人生活、私的領域の重要性を挙げている。

さらに、このような社会とのかかわりを回避した「私的領域」のなかに、自分たちの世界を維持しようとする生き方は、一見、身軽な安易さを思わせる。しかし、そうした生き方のなかで、自己を確認し、生きがいを創造していくことは、至難の業である。さらに、青年が自己確立や生きがい創造のための有効な機会や場を社会のなかに持たず、またもとうとしないことは、青年自身にとっても大きな不幸である。一方他者への連体や共感能力の欠如は、現代社会を一層生気に乏しい、インパーソナルな空間に変えている。

すなわち、1970年代の青年の意識の特徴として、社会からの離脱や私的領域の重視が指摘されている。ここでも同様の傾向が認められ、さらに、不確実性の増大も窺われる。

それでは、具体的に、生活信条について検討してみよう。

Q25 つぎの2つの意見のうちどちらに近いか「正しいと思うことは主張し、自分をごまかさず、信念をもって生きる」理系54.3%，文系45.0%，母群53.6%，「目上の人をいつも立て、人に好かれるように、その場に応じてうまく振る舞う」理系44.7%，文系53.3%，母群37.5%

理系と母群は、自分の信念のもとに生きることの大切さを選択しているのに対し、文系の場合には、調子よく上司に波長を合わせて付和雷同的な生き方を挙げている。

千頭剛氏⁽⁶⁾によれば、近代社会の特徴の一つとして人間関係において、ヨコ関係をタテ関係より重視することがあげられる。日本における近代の未成熟は、いまだに人間関係におけるタテの関係がヨコの関係よりも、はるかに重視された精神構造と意識構造に前近代を温存している。不必要なまでに人間関係でのタテ関係、上下関係を重視し、上司に媚びへつらい、自分の出世をはかるという、あさましい功利心が働いていることもある。さらに、青年は、目上の人たちを心から尊敬し、信頼しているわけではない。このように日本独特のタテの対人関係を説明している。理系と母群は、自分の生活信条にもとづいて生きるといった潔よさが認められる。母群では、社会での上下関係にそれほど煩わしい体験をしなかったとか、価値観の大きな変動のあった時代に

育ってきたことも、関係しているようである。

Q27 「子供にメンツにこだわるなと教えることは大切だ」「そう思う」理系31.9%、文系36.3%、母群46.4%、「そう思わない」理系33.0%、文系27.4%、母群21.4%、

学生よりも母群の方が、メンツにこだわらないようである。理系がややこだわる割合が高い。これは、理系には男子が61.7%、文系は42.3%占めることから、「男の子だから」といった伝統的躰を受けてきているためではないかと解釈される。なお、母群は、短大生の女子の親であるため、こだわらないと回答している割合が高いのであろう。

Q29 「他人にあげるものを買うとき、有名店で買う方である」「決まってない」理系60.6%、文系57.4%、母群55.4%、「そうしている」理系17.0%、文系21.1%、母群41.1%、過半数以上は、銘柄にこだわらないが、しかし、母群の4割はこだわりがある。

日本人は、個性を尊ぶよりは、同じであることを良しとし、人の評価に対し敏感であるため、銘柄の品物であれば、無難であるといった気持ちから、母群におおいのであろう。さらに、文系にも多少そのような傾向が見られるのは、女子が53.6%占めていることが関係しているようである。

Q31 「近所付き合い」「話し合えるような付き合い」理系61.7%、文系53.3%、母群76.8%「挨拶する程度」理系30.9%、文系33.7%、母群16.1%、「相談し助け合う」理系7.4%、文系12.4%、母群7.1%。

学生も母群も、浅い近所付き合いで、私的生活を重んじている。特に母親が高い割合を占めている。今の学生は対人関係が希薄であると指摘されていることから、「挨拶する程度」の3割は、納得できるものである。なお「相談し助け合う」が、文系に多いのは、女子学生が、グループで行動するのを好む、その延長線上で判断しているためであろう。駒崎勉氏⁽¹⁰⁾も調査結果から女子の友人とのかかわりの極めて大きいことを指摘している。

ところで、島田一男氏⁽¹¹⁾は、近所付き合いについてつぎのように解説している。

「近代化が進むにつれて、都市では隣近所の付き合いは、まさつを起こさないために深入りせず、お互いの拘束を少なくするような習慣ができていった。すなわち、その背後には、戦後は、家族制度の崩壊や急速な産業社会化到来によって、都市化が進んだ。そのためムラ的な拘束力のある生活が嫌われて、できるだけ煩わしい近所付き合いのない都市のアパート、マンション暮らしが好まれるようになった」、さらに、「今日の会社社会では、冠婚葬祭をはじめとして、困った時には会社の人に電話をすればなんとかなるし、隣人の世話になることは少ない、大都市の周辺都市では、近所付き合いは、大都市と同様になって、挨拶程度にするのが暮らしやすいという常識みたいなものができているようである」、以上の近所付き合いの変容から母群を見直すと、まさに、このような風潮の中で、育ってきているため、近所の人達と距離を取るの、当然の結果と納得できる。

Q32 「職場の同僚との付き合い」「話し合ったり遊んだりする付き合い」理系55.3%，文系60.5%，母群60.7%，「相談したり助け合える付き合い」理系36.2%，文系28.4%，母群16.1%，「仕事に関する付き合い」理系7.4%，文系9.4%，母群21.4%。

まず、同僚とは、レクリエーションも、集団で実施し、さらに、個人的な相談までもする（密度の高い対人関係を持つ）人が学生に約3割を占めている。これは、住宅の物理的環境、通勤距離の長さ等から、職場にいる時間が長いことも関係するであろう、まるで会社が、擬似家庭化しているとも解釈される。

なお、現実に職場に入った時には、上司が信頼できる人か、同僚の人柄によっても変動するものと考えられる。母群の「仕事上の付き合い」の割合が高いのは、近所付き合いも浅かったことに共通するものと考えられる。

Q34 あなたの意見に近いものを選択して下さい。

「台所の手伝いや子守りは、男子のすることではない」理系9.6%，文系8.5%，母群12.5%，「夫が台所の手伝いや子守をするのは、当然である」理系90.4%，文系89.7%，母群78.6%，学生の約9割と母群の7割が役割分担否定の同等志向が強く、伝統型が少数である。非常に好ましい傾向であると考えられる。これまでは、NHKの世論調査（1979年）によれば、女性の7割、男性の8割が性による役割分担に賛成していると報告されている。さらに国際比較調査でも、日本人は、特に欧米人と比較したときに性による役割分担を肯定する割合が高いと木村敬子氏¹²⁾が指摘している。

いずれにせよこの十数年来に、驚くべきほどの意識変革が生じたということである。その点について目黒依子氏¹³⁾は、つぎのような解説をしている。「女の幸福は結婚にあり、家庭をもって主婦として生きることが、女の道であるという強固な社会通念は、1970年代後半になって、主婦たち自身の中で揺らぎはじめた。最大の要因は、寿命の伸長や出生児数の減少といった人口学的性格のものであったといえる。出産、育児のみに専念するには、人生の後半があまりにも長くなり、生きがいの対象を子どもに求めても成長した子どもたちは、母親の所有物ではなくなった。同時に人生のパートナーであるはずの夫は、生産役割中心であって、夫は家庭の外の世界、妻は家庭内の世界に生きる分業人生は崩れていない。育児後の家庭生活の空しさは妻たちに結婚の意味を問い直させる重要な契機であったといえよう」。

すなわち、主婦達が、少子化、高齢化社会を迎え、夫は、相変らず企業戦士で家庭不在であって、自分の生き方の変容を迫られたその結果、社会進出を余儀なくされ、性による役割分担が、伝統型から、同等志向に変化したということである。したがって、この数字はかなり納得できるものと考えられる。

Q35 「子供達が、どんな人間に育つことが望ましいですか」「教養があり心が豊かな人間」理系51.1%，文系53.2%，母群41.1%「権利や生活を尊ぶ人間」理系16.0%，文系22.7%，母群

17.9%「秩序を守る規則正しい人間」理系12.8%、文系10.9%、母群17.9%「社会で役立つ知識、技能を身につけた人間」理系9.6%、文系5.9%、母群17.9%。

まず、精神的に豊かな人間で、権利を主張するといった人間に育つことをイメージしている。しかし、学生は、社会規範を守ったり将来、社会で自立して生活するために必要な知識や技能を身につけることを重んじてない。これは、一つには、今の学校教育の締めつけの厳しさや、受験競争に対する反撥が反映しているものと考えられる。特に、文系にその傾向が強いことから、将来、親になった場合には、「甘い人間」を再生する傾向が認められる。

Q37 「あなたの生活目標はどれに近いか」「身近な人となごやかな毎を送る」理系33.0%、文系39.7%、母群35.7%、「その日を自由に楽しく過ごす」理系31.9%、文系31.9%、母群7.1%。「計画を立て豊かな生活を築く」理系27.7%、文系23.5%、母群51.8%「力を合わせて世の中をよくする」理系7.4%、文系3.6%、母群5.4%。まず学生は、「身近な人と自由になごやかに過ごす」に対し母群は「豊かな生活を築く」、学生達も母群も「社会をよくする」ことには、コミットしないということになる。

この調査項目は、NHKの世論調査部の項目であり、加藤隆勝氏⁵⁾が1973年と1983年とを比較し、青年層と老年層とはより一層、現在中心の方向へ傾き、“いま”の自分の“いま”の人間関係を大切に生き方が支配的になりつつある。さらに、現代青年は、社会の改善や社会参加について消極的といわざるをえない。私的、個人生活のより高い充足を求めながら、社会に対してはさめた目を向けるという特質、社会とのつながりを求めない生き方が反映されたものであると意味づけている。

まさに、学生の生き方は、現在志向型で母群は、未来資産型である。さらに、学生も母親も、個人生活主義で、社会への関心は稀薄である。これは、戦後の民主主義、個人主義のイデオロギーや、受験競争、核家族化、都市化等の結果ではなかろうか。

Q38 あなたの考えにより近いものはどれですか「結婚は当事者だけの合意だけではなく、親や生活環境も考える」理系50.0%、文系64.2%、母群80.4%、「結婚は当事者の合意さえあればよい」理系50.0%、文系33.4%、母群19.6%、母群と文系は、当事者の合意のみならず、生活条件まで十分検討して結婚する割合が高い。特に母親は現在の状況からその意向が強いようである。理系は、結婚条件を検討するのと、当事者の合意だけが半々になっている。

夏刈康男氏¹⁴⁾の日本の婚姻状況の調査によれば、配偶者選択の諸条件は、全体的に男性よりも女性の方が厳しい。その諸条件の提示の中に、経済的側面での男性依存の意識と同時に強い女性の主体的、自発的な配偶者選択の意識を読みとることができる。その意識の基礎にあるものは、配偶者を「家」や集団の枠組みよりも、個人的能力や属性を重視して選択しようとするものである。従って、女性の厳しい配偶者選択の目は、結婚したくてもできない状況を呈するであろうと、示唆している。

これに関連する調査結果が最近報告¹⁵⁾された。

1995年9月、全国の20代と30代の独身女性を対象にしたもので「理想的な相手が見つかるまでは独身のままでよい」、約60%を占め、さらに、結婚の理想の年齢は28歳が一番多かった。これは、結婚しないでも自立して生きていけるといったある種の自信があることと、社会がそれを肯定的に受け止めるようになってきていることが推察される。

Q39 「多少の困難があろうと離婚すべきでない」理系66.0%、文系48.1%、母群58.9%、「納得できないなら、一緒にいるより離婚」理系31.9%、文系47.9%、母群28.6%、理系と母群は、過半数以上が、離婚に反対であるのに対し、文系は、離婚反対と賛成とが半々になっている。結婚相手に対しては、高い条件を出しておき、うまくいかなかったら離婚と、かなり安易な態度と考えられるが、これも、一回きりの人生を、納得して生きたいとの表われかと解釈できる。

近年、米国ほどでもないが、日本でも離婚率が高まっている。その原因としては、まず、1995年9月に婚姻制度の見直しがなされ、離婚が容易になってきている。さらに、離婚に対する社会の偏見が弱まったこと、女性が経済力を持ち、離婚後も生計を維持できること、さらに結婚形態がさまざまに変容していること等が関係しているのであろう。

以下、Q40～Q49までは、性格特性を測定するものである。3群の特徴を要約しておく。

理系は、いろいろな人と知りあったり、広い交際を好むが、しかし、親友や異性の友だちはできにくい。その原因として、無口で人と話す時に緊張したり、人に目立つことは好まないといった、いわゆる自己開示性が容易でないことが関係しているようである。やや消極的なタイプである。

文系は、理系と同様に人との交際が好きである、こちらは、おしゃべりのため、友人や異性の友だちがしやすい。多少、緊張することもあるが、調子のよい現代っ子タイプである。

母群は、明るく、おしゃべりであるが、深い特定の友人を持つことは好まない。現状維持のマイペース型である。

これまでの回答の仕方と同世代であっても、相異が出現してくるのは、以上の3群の性格特徴も関与していたからではないかと推察される。

V 結語

現代青年の生活一般に渡る価値観に関する調査を、大学生、短大生及びその母親達を対象に、平成6年11月に実施した。50項目のうち31項目に有意差(χ^2 検定 $P < .005$)が認められた。その項目について、理系(94名)、文系(886名)母群(56名)の3群間で検討し、以下のような特徴が認められた。

- (1) 社会化(躰)の領域では、学生は、自己中心性、三無主義が主流をなし、母群とに世代間の相異が認められた。それは、家族の変容、教育制度、民主主義のイデオロギーを背景に

出現してきたものと考えられる。

- (2) 学生は私権優先、母群は公共性を挙げている。学生の社会からの退却が認められる。
- (3) 理系は、自分の生活信条にもとづく、個人主義型に対し、文系は、周囲の人と調子を合わせる、協調型を選択している。
- (4) 近所付き合いは、3群とも浅く私的生活を重視する。これは家族制度の崩壊や煩わしい近所付き合いのない都市化によるためであろう。
- (5) 同僚との付き合いは、親密で、まるで擬似家庭化している。学生群に多いことから、特に女子の場合には、家族よりも友人とのかかわりが親密である。その延長線上で、判断しているようである。しかし、職場に入った時には、変動する可能性が考えられる。
- (6) 性的役割分担に対しては、学生の9割、母群の7割が同等志向が強く、伝統型は、少数である。1979年の世調調査では、男性の8割、女性の7割が伝統型であったことと比較して大きな意識変革が生じているようである。

その理由として、主婦達が、少子化、高齢化社会、夫は企業戦士で家庭不在の結果、自分の生き方の変容を迫られ、社会進出を余儀なくされたことにより、大きく変化したと解釈される。

- (7) 子供に期待する理想像は、精神的に豊かで、権利を主張することを挙げている。しかし、将来、社会で自立するために必要な知識、技能を身に付けることは重んじてない。したがって、「甘い人間」の再生がなされるのではないかと心配される。
- (8) 生活信条は、「身近な人と自由に、なごやかに過ごす」といった、現在志向型が学生に多く、母親は、「計画を立て、豊かな生活」と、未来資産型である。「力を合わせて世の中をよくする」は、3群とも少数で、社会への関心は、非常に稀薄である。
- (9) 「結婚条件について」、母群と文系は、厳しい配偶者選択の条件をつけている。その結果、結婚しにくい人も増加するであろう。その理由の一つとしては、結婚しなくとも、自立して生きていけるからであろう。
- (10) 「離婚について」、理系と母群は、反対であるのに対し、文系は、うまくいかなかったら、離婚すると柔軟性が認められる。離婚率が高まった要因としては、法律的に離婚がしやすいように整備されてきたこと、社会の偏見が弱まったこと、女性の経済力、さらに、自分の一回きりの人生を大切にしようといった自覚等の要因が考えられる。
- (11) 性格特性として、学生群は、浅く広い対人交渉を望んでいる。しかし、理系は、自己開示性が容易でなく、無口な消極タイプ。文系は、おしゃべりで、調子のよい現代っ子タイプ。母群は、明るくしつかり自分を保持しているマイペース型である。

これらの特性が、回答にも及んでいるものと考えられる。ところで、オウム事件と理系との関連をここから推察すると、能力は高いが、その割には対人交渉が稚拙で、自己不全

感が強くその変革をカルトに求めたのではなかろうか。

- (12) 青年は、国の未来の姿の反映でもある。家庭、教育、政治の各分野で、「人間教育」について戦後50年の区ぎりとして討議する必要があるものと考察される。

付記、この調査にご協力下さった学生さんや細部国明先生、蓼沼康子先生、長谷川啓先生、西田郁子先生、森田玲子先生に心から感謝申し上げます。なお、この調査は、東海大学の小川浩一先生、本学の佐藤嘉晃先生と共同研究をし、各自がテーマを決め執筆した。すでに研究の1部を第4回性格心理学会と第62回日本応用心理学会で発表した。

〈引用・参考文献〉

- (1) 白井利明 第36回日本教育心理学会発表論文集1994。
- (2) 山崎和正 朝日新聞 論壇 1995, 5, 19。
- (3) 馬場謙一他編 青年期の深層 有斐閣 1987
- (4) E.H.エリクソン 小此木啓吾訳 自我同一性 誠信書房1959
- (5) 加藤隆勝 青年期の意識構造その変容と多様化 誠信書房1989
- (6) 松原治郎他編 現代のエスプリ 113しつけ 至文堂 1976
- (7) 三戸公 恥を捨てた日本人 民主主義と〈家〉の論理 みらいしゃ 1987
- (8) 宝月誠他編 リーディングス日本の社会学 13 社会病理 東京出版会 1986
- (9) 秋葉英則他編 講座青年第5巻 未来の青年 清風堂書店1991
- (10) 駒崎勉 日本における大学生の生活行動と意識構造 城西大学研究年報 1991
- (11) 島田一男監修 第5巻 近隣社会の人間関係 プレーン出版1988
- (12) 木村敬子 女たちのいま〈講座女性学2〉勁草書房1989
- (13) 目黒依子 個人化する家族 勁草書房1989
- (14) 矢田大雄他 現代日本文化と家族 日本大学総合科学研究所1992
- (15) 第一生命保険 働く女性調査 朝日新聞1995.9.17